

校名	区分		規模別	充実金額	充実率
	区	分			
68	浪江	高	II	2,883,240円	44.4%
69	富岡	高	II	2,465,210	38.0
70	双葉	農業高	II	2,437,570	37.5
71	相馬	高	II	2,360,180	36.3
72	新地	高	II	1,990,870	30.6
73	相馬	女子高	III	3,126,260	41.7
74	原町	高	III	3,096,110	41.3
75	相馬	農業高	II	2,841,870	43.8
76	小高	農業高	II	2,191,330	33.7
77	小高	工業高	II	2,773,900	42.7
計				207,165,690	
平均					39.3

校名	区分		規模別	充実金額	充実率
	区	分			
福島盲学校				1,020,040円	31.5%
郡山盲学校				833,390	67.6
会津盲学校				894,490	72.6
平盲学校				877,860	71.2
福島ろう学校				1,104,670	41.4
郡山ろう学校				775,870	70.0
会津ろう学校				796,310	72.0
平ろう学校				752,200	67.8
養護学校 (平分校)				924,870	45.8
				835,300	41.3
計				8,815,000	
平均					58.1

(5) 年度別国庫補助金交付額、交付対象校数

交付年度	高等学校		盲学校		ろう学校		養護学校		計	
	交付額	対象校	交付額	対象校	交付額	対象校	交付額	対象校	交付額	対象校
29	516千円	5	30千円	1	30千円	1	－千円	－	576千円	7
30	2,575	25	70	2	43	1	－	－	2,688	28
31	2,363	23	34	1	66	2	－	－	2,463	26
32	2,452	24	50	1	98	2	－	－	2,600	27
33	3,159	22	53	1	100	2	－	－	3,312	25
34	3,132	25	105	3	41	1	－	－	3,278	29
35	3,533	24	41	1	105	3	－	－	3,679	28
36	3,915	27	－	－	－	－	87	1	4,002	28
37	7,275	40	240	4	240	4	90	1	7,845	49
38	6,284	34	210	4	240	4	61	1	6,795	43
39	5,550	27	－	－	80	1	60	1	5,690	29
40	6,200	41	265	4	252	4	100	2	6,817	51
41	6,899	32	400	4	－	－	100	1	7,399	37
42	8,500	39	－	－	400	4	200	2	9,100	45
43	11,018	43	800	4	－	－	200	1	12,018	48
計	73,371	431	2,298	30	1,695	29	898	10	78,262	500

(注) 43年度の高等学校分には、理振モデル校(安積高)の分を含む

○経営管理に関する教育をとおして、産業界で働く者の意欲を身につけさせた。

## 第7節 産業教育

昭和44年度は、科学技術の進歩、社会経済情勢の進展に伴う社会的要請の変化に即応して教育内容の近代化を図り、あわせて産業教育担当教員の質的向上にも努力した。

(1) 農業教育においては

総合農政等の動向を勘案し、指導内容・指導方法の抜本的な改善を図り、創造性豊かな農業者の育成につとめた。

(2) 工業教育においては

実習指導票の整備充実を図るとともに、プログラム学習・視聴覚教材の活用をとおして知識の定着につとめた。

(3) 商業教育においては

○商業諸科目の内容を、科目の特性と、社会の要請に即して検討するとともに、科目相互間の連けいを図った。

(4) 水産教育においては

指導内容・方法の改善をすすめ、基礎的知識・技術の定着を図り、また練習船福島丸の効果的な運営によって、有能な水産人の育成に努力した。

(5) 家庭科教育においては

○実践をとおして、学習指導を充実させ、確実に知識・技術を身につけさせることに努力した。

○家庭生活を科学的に処理できる態度を育成することに努めた。

### 1 産業教育に従事する教員の現職教育に関すること。

(1) 各種研修講座研修生の派遣